



# 先輩職員インタビュー

Staff interview



## 寄り添う気持ちを大切にしたい

【現所属】 保健福祉部 子ども幸福課

経歴

〇令和4年4月1日入庁 保健福祉部 子ども幸福課

主な業務 妊産婦の支援や赤ちゃん訪問、乳幼児健診や相談、学校保健（歯科保健）等の母子保健業務



### どのような時にやりがいを感じますか？

市民の方が、妊娠から出産、育児をしていく中で、誰かに話を聞いてほしいと思ったときに私のことを思い出し、電話をかけてきてくれた時に、信頼関係が築けていることを実感し、やりがいを感じます。

すぐに物事を解決することが難しい時もありますが、相談してよかったと感じてもらえるよう、お母さんたちの気持ちに寄り添っていきたくて常に思っています。

### 入庁前後の印象を教えてください

大学時代に実習で大田原市役所に来たことがあり、その時からとても良いイメージがありました。

公務員と聞くと、真面目で物静かな職場かなと思っていましたが、私の周りの人たちは想像以上に気さくで面白く、そして優しく、印象は更に良くなりました。

とにかく上司からの気遣いの声掛けが多く、また、先輩後輩間の「コミュニケーション」も最高です。

### 今後について

私は入庁し、現在の部署で2年目となりましたが、まだまだ自分の仕事に自信が持てずにいます。

今は日々、目の前のことに必死に取り組む、勉強しながら知識を深めている状況です。

地域の人たちだけでなく、一緒に働く仲間からも信頼されるような存在になりたいです。

### 上司からの一言

2年目を迎えた彼女は、自身の担当業務を問題意識と責任感をもって取り組んでいます。

特に、乳幼児健診では常に優しい笑顔で母子に寄り添う姿は輝いています。これからも益々、保健師としての様々な経験を積み重ねて下さい。

### 市役所試験ではどのような対策をしましたか？

保健師の募集は数年に1度のため、6月に募集を見つけてから慌てて勉強を開始しました。

2人目の子どもを出産した直後であり時間の余裕がなかったため、地方初

### 受験生へメッセージ

私は入庁する前、看護師として働いていました。転職を考えたことが初めてで不安があり、受験するかを迷っていました。

しかし、受験しなかったことを後悔し、悔しいなと思う、年齢的にも最後のチャンスであったため、受験を決めました。

入庁してから自分が思っていた以上に、社会人経験のある職員が多くて驚いたことを覚えています。

職場は助け合いや気遣いがとても多く、子育てをしながら働いている私への配慮もとてもありがたく感じています。

もし、年齢や家庭の状況等で受験に迷っている方がいたら、私は大田原市役所を受験してみることを強く勧めたいです。